Airlake

Airlake Retail Agent

～店舗開発から店舗運営までの小売業業務を自動化・最適化する小売業DXプラットフォーム～

サービス紹介資料

株式会社DATAFLUCT

Ver.1.2

2025.10.15

目次

1.小売業における課題・背景

2.Airlake Retail Agentの概要

3.Retail Agent 店舗開発パッケージの主要機能

4.Retail Agent 店舗運営パッケージの主要機能

5.Retail Agent 本部業務パッケージの主要機能

1. 小売業における課題・背景

小売業における課題・背景

Airlake

小売業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、店舗開発・店舗運営ともに課題が顕在化しています。

店舗開発における課題

- **競合環境の激化**
立地条件の良い物件にはすでに自店や競合が出店しており、良い物件を探すことが非常に難しくなっている

- **売上予測の精度向上が困難**
出店の可否判断に最も重要な新店売上予測の精度を向上させることが難しく、一部のベテラン担当者の経験や勘に頼る企業も見られ、属人化の傾向が強い

- **物件検討から出店までの業務の効率化が不可欠**
年々高騰している店舗開発費用に対して、物件検討から店舗オープンまでの全業務を見直して一連の業務を自動化・効率化してコストを削減することが不可欠

店舗運営における課題

- **店舗の労働力不足**
少子高齢化などを背景に店舗従業員の採用が難しくなっており、店舗の労働力が不足しているため、店舗オペレーション全般における作業の自動化・効率化が急務

- **店舗作業の属人化**
発注作業や陳列変更など、店舗の主要業務が店長や担当者の経験に依存しておりここでも属人化の傾向が強く、店舗間・担当者間でのレベルのばらつきも大きい

- **店舗の収益性の問題**
発注業務の精度により欠品・廃棄ロス・値下げロスが発生するなど、店舗業務の習得レベルにより店舗の収益に影響が大きいため従業員への教育コストも課題

店舗開発から店舗運営までの一貫した業務を高品質で自動化・効率化することが必要

2. Airlake Retail Agentの概要

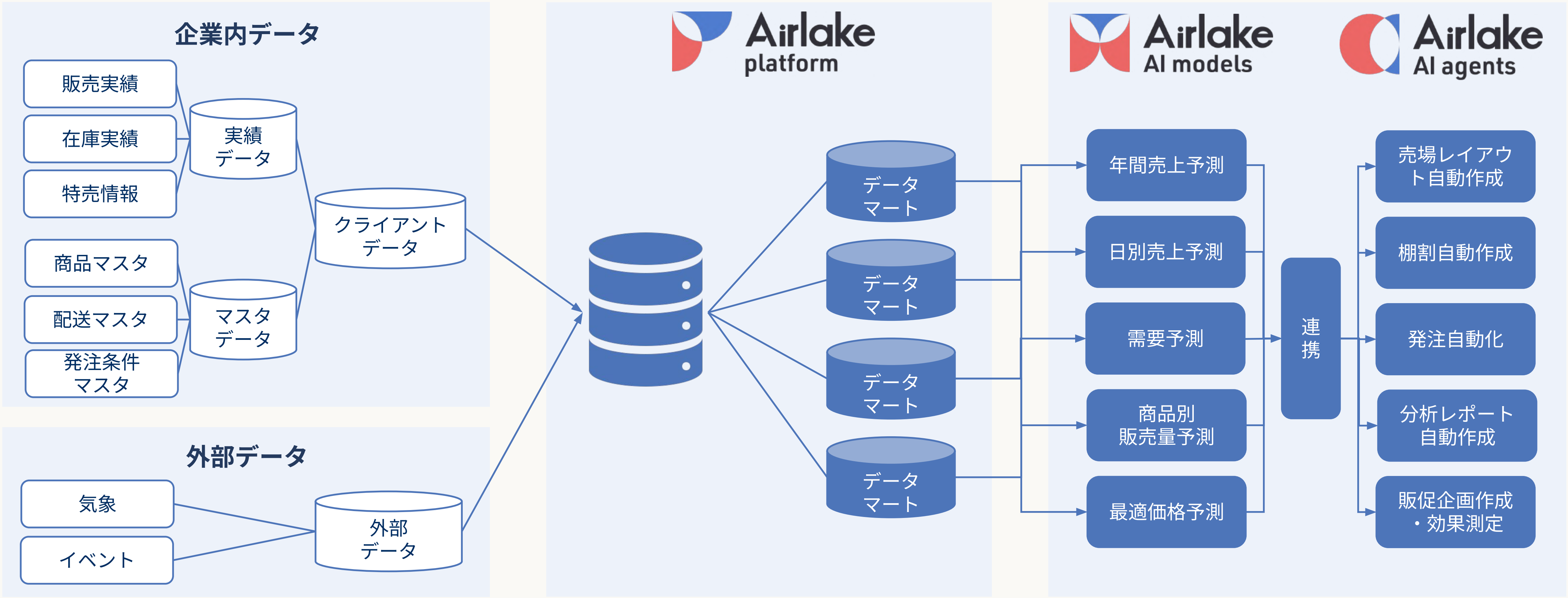
Airlake Retail Agentの概要

Airlake Retail Agentは店舗開発・店舗運営・本部業務など、小売業の業務全般を一貫して自動化・最適化する総合DXソリューションです。

Airlake Retail Agent		
Retail Agent 店舗開発パッケージ	**Retail Agent 店舗運営パッケージ**	**Retail Agent 本部業務パッケージ**
店舗開発業務を自動化・最適化 出店の成功確率の向上と出店スピードアップを両立	店舗の運営業務を自動化・効率化 店舗収益の向上や労力削減・人手不足に対応	店舗運営を支援する本部業務の自動化・効率化を支援 本部と店舗を繋ぐ各種データの分析が可能
出店候補エリア探索	日別売上・客数予測	棚割自動作成 （全店標準向け）
新規出店 売上予測	需要予測・発注自動化	店舗別の品揃え最適化
店舗什器レイアウト自動作成	棚割自動作成 （既存店向け）	店舗経営分析レポート自動作成
売場カテゴリーレイアウト自動作成	販売価格最適化	店舗別KPIダッシュボード
棚割自動作成 （新店向け）	スタッフシフト最適化	サプライチェーン需要予測 （仕入れ計画向け）

Airlake Retail Agentのソリューション概念図

社内データと外部データをAirlakeに連携・加工してAI Modelsで予測を実施、さらにAIAgentで業務を自動化します。



３. Retail Agent 店舗開発パッケージの主要機能

店舗開発パッケージの主要機能 ①出店候補エリア探索

Airlake

全国や指定地域のなかで商圏のマーケットボリュームが大きく、かつ競合の少ない、ポテンシャルの高いエリアをランキングで表示します。これによりどのエリアに優先的に出店するべきかが明確になり、出店戦略の精度向上が可能になります。

商圏のマーケットボリューム

地域別のターゲット属性の人口・世帯数などからマーケットボリュームを算出

競合の度合い

地域別の業態別の競合出店状況から競合度の高低を算出

自社の出店状況

当該地域にすでに自社店舗が出店している場合はその状況を反映

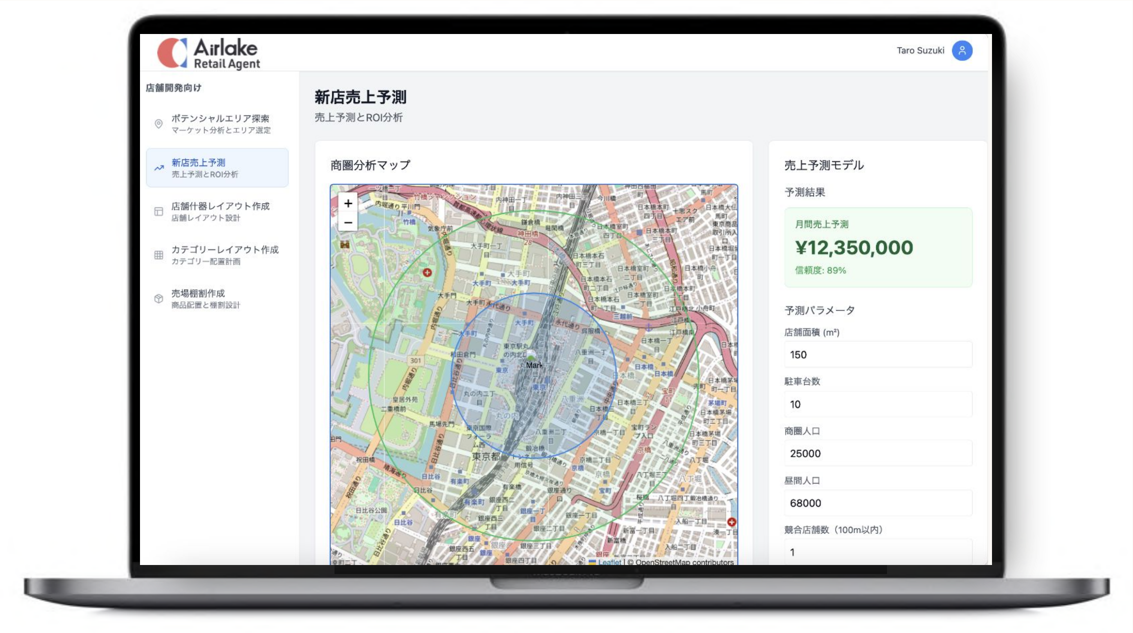
商圏マーケットボリューム・競合の度合い・自社の出店状況を反映してエリア別のポテンシャルを算出

順位	都道府県	市区町村	町丁目	ポテンシャル金額
1	東京都	世田谷区	A町１丁目	5,000,000
2	東京都	目黒区	B町2丁目	4,500,000
3	東京都	渋谷区	C町3丁目	4,200,000
4	東京都	世田谷区	D町4丁目	4,100,000
5	東京都	杉並区	E町5丁目	3,900,000
6	東京都	渋谷区	F町１丁目	3,800,000
7	東京都	目黒区	G町2丁目	3,700,000
8	東京都	世田谷区	H町１丁目	3,500,000

店舗開発パッケージの主要機能 ②新規出店 売上予測

Airlake

商圏情報や競合情報など様々なデータを活用し、最先端のAI技術により高精度の売上予測を行うことで店舗開発の意思決定を支援します。出店リスクを低減し、収益性の高い出店戦略を実現することが可能になります。



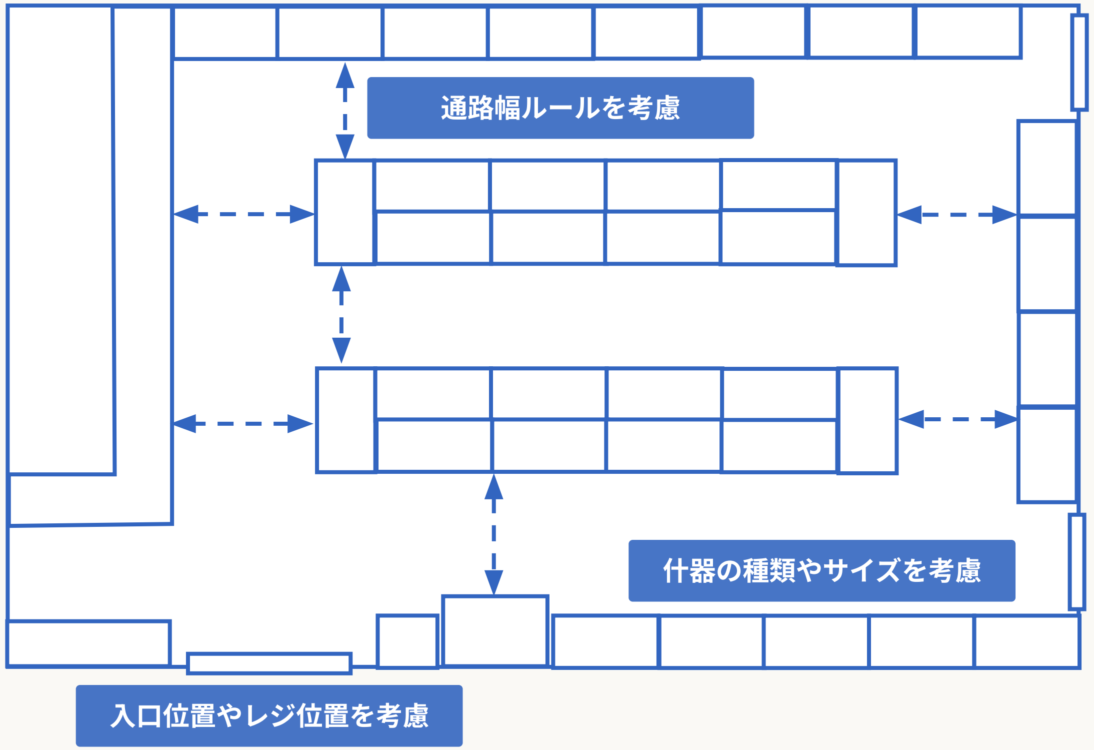
※画面はStandardプランのサンプルとなりますが、現在開発中のため
実際とはやや異なります。

多様なデータの活用	商圏データ・競合データ・人流データなど、売上に影響する様々な要因のデータを活用
高精度のAIアルゴリズムの活用	20種類以上のAIアルゴリズムから業種・業態ごとに最も精度の高いアルゴリズムを採用することで高精度の予測を実現
予測結果の理解と説明が可能	予測結果について、どの影響要因が予測結果にどれだけ影響しているかがわかるので予測理由の理解と説明が可能

店舗開発パッケージの主要機能 ③売場什器レイアウト自動作成

Airlake

これまで店舗設計を専門とした担当者が行なっていた売場什器レイアウトの作成を、店舗の売場面積・売場形状・通路幅ルールなどの各種情報をもとに、最適化アルゴリズムとレイアウト設計ルールにより自動作成します。



AIによる最適なレイアウト生成	店舗規模や商品構成を考慮して、AIが最適な什器配置案を自動作成
柔軟なシミュレーション	配置案は複数パターンで提案して比較検討ができるので、売上最大化や動線効率化など目的に応じた調整が可能
様々な制約条件を考慮した什器レイアウト	入口位置やレジ位置、売場什器の種類や標準サイズ、通路幅のルールなどを活用し、根拠あるレイアウト設計を実現

売場什器レイアウト自動作成の操作イメージ

Airlake

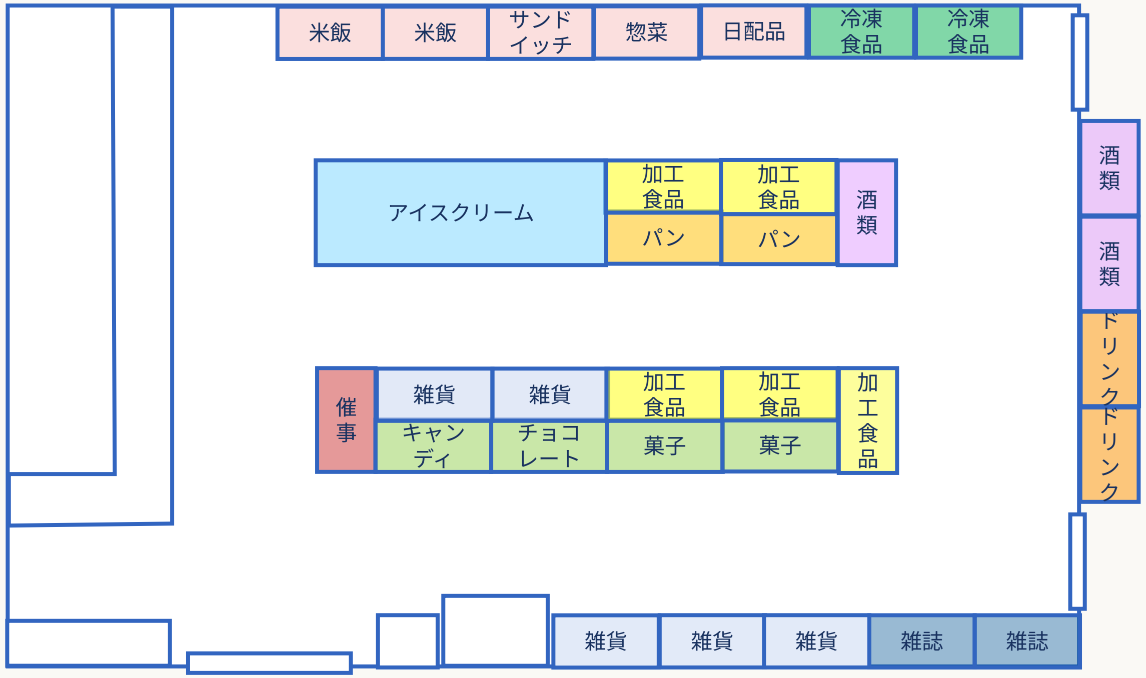
対象店舗の売場形状の情報などをインプットするだけで、個店ごとに最適化された売場什器レイアウトを自動で作成します。

操作・処理フロー	①対象店舗の売場形状の図面を入力	②通路幅の最小値などの制約条件を入力	③レジ台数やウォークインなどの指定位置があれば任意で入力	④AIが最適な什器レイアウトを作成	⑤レイアウトを可視化
操作例	ユーザー入力画面からアップロード	（例） 通路幅160cm以上	（例） レジ台数３台 ウォークインなし	（什器サイズや通路幅ルールなど諸条件を反映）	レイアウトを ビジュアルで出力

店舗開発パッケージの主要機能
④売場カテゴリーレイアウト自動作成

Airlake

従来は店舗開発や店舗運営の担当者が経験や勘に頼って作成していた売場カテゴリーレイアウトの作成を、店舗の売場面積・動線性・商品カテゴリー構成・商圏特性などをもとに、最適化アルゴリズムとレイアウト設計ルールにより自動作成します。



AIによる最適なレイアウトの作成	店舗規模やカテゴリー売上比率などの各種情報を考慮して、最適なカテゴリーレイアウト案を自動作成
店舗の商圏特性に応じたレイアウト構成	店舗の商圏特性によりカテゴリーの売上比率は異なるため、商圏特性をレイアウトに反映
データドリブンな店舗開発	POSデータに基づく商品カテゴリー売上比率を活用したデータドリブンなレイアウト設計を実現

売場カテゴリーレイアウト自動作成の操作イメージ

Airlake

対象店舗の売場形状の情報などをインプットするだけで、個店ごとに最適化された売場什器レイアウトを自動で作成します。

操作・処理フロー	①対象店舗の売場什器レイアウト情報を入力	②カテゴリーの最低コンドラ数などの制約条件を入力	③GISにより商圏特性情報を集計・入力	④AIが最適なカテゴリーレイアウトを作成	⑤カテゴリーレイアウトを可視化
操作例	ユーザー入力画面からアップロード	（例） 酒類２扉以上	（GISの自動集計機能はオプション）	（入力された各種情報を反映）	カテゴリーの レイアウトを ビジュアルで出力

店舗開発パッケージの主要機能 ⑤棚割自動作成（新店向け）

Airlake

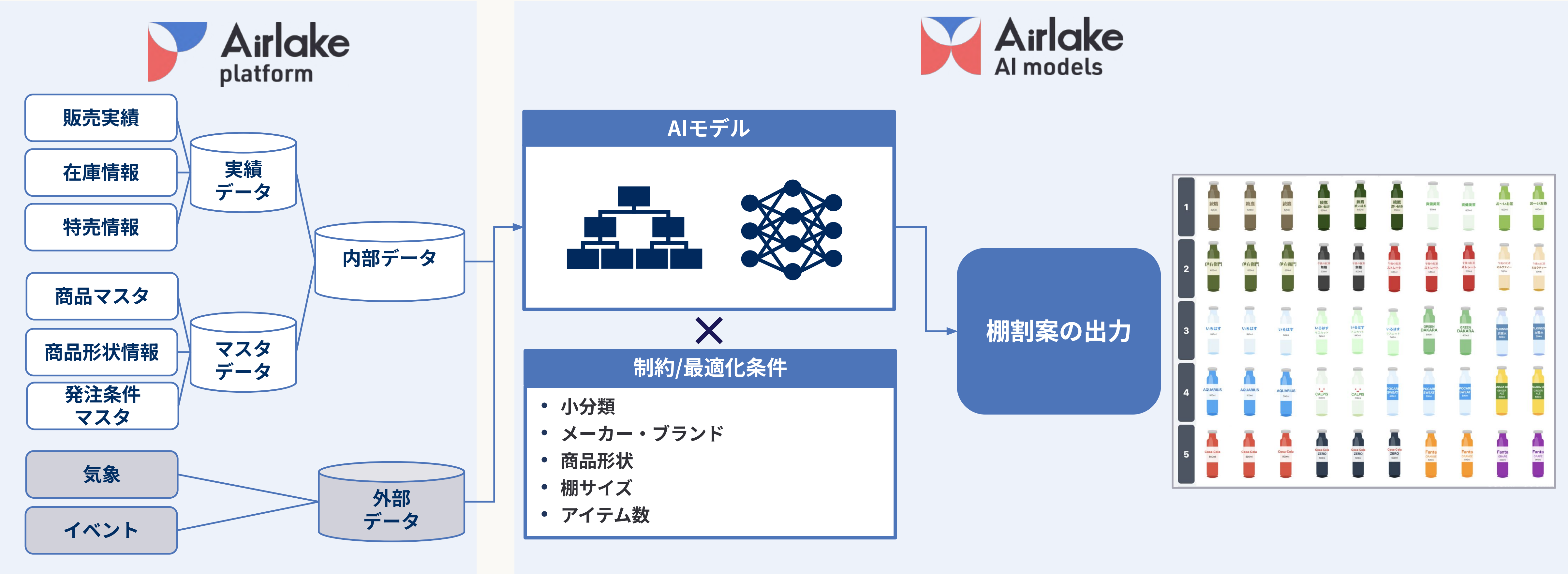
エリアの商品販売状況・売場什器およびカテゴリーレイアウトの状況に応じた最適な棚割案をAIが自動作成することで、新店開店時における担当者の労力を大幅に削減します。

※サンプル画面は商品画像を取得しないプランの場合の画面イメージです。
商品画像を取得できる場合は実際の商品画像が表示される予定です。

売上・利益を最大化するための品揃えを自動作成	エリアの売筋商品や新規商品など、重点的に導入するべき商品の考慮して品揃えを自動作成することで、売上・利益の最大化を支援
店舗ごとの制約条件を反映した棚割の実現	売場什器のサイズやカテゴリー特性などの制約条件のほか、最小フェイス数など任意で設定可能なルールを反映して、店舗ごとの条件に合わせた棚割を作成可能
担当者による自由な変更が可能	棚割は画面上で自由に変更できるため、複数パターンでの比較検討が可能

店舗開発パッケージの主要機能⑤棚割自動作成（新店向け）

エリアの商品販売状況・売場什器およびカテゴリーレイアウトの状況に応じた最適な棚割案をAIが自動作成することで、新店開店時における担当者の労力を大幅に削減します。



棚割自動作成のロジック

Airlake

売場什器のサイズパターンやその他の条件をユーザーが設定するだけで、対象カテゴリーの売筋商品・定番商品の導入やメーカーごとに統一した陳列順など、各種条件を考慮したうえで売上を最大化する棚割パターンを自動で作成します。

ユーザー設定情報
- 什器サイズ
- 陳列カテゴリー
- その他の希望条件

商品情報
- メーカー・ブランド
- 商品形状・サイズ
- その他の制約条件

販売実績情報
- 売筋商品・定番商品
- 新規商品

→ 各種条件を満たして売上を最大化する棚割パターンを作成 →

棚割決定

棚割自動作成の操作イメージ

Airlake

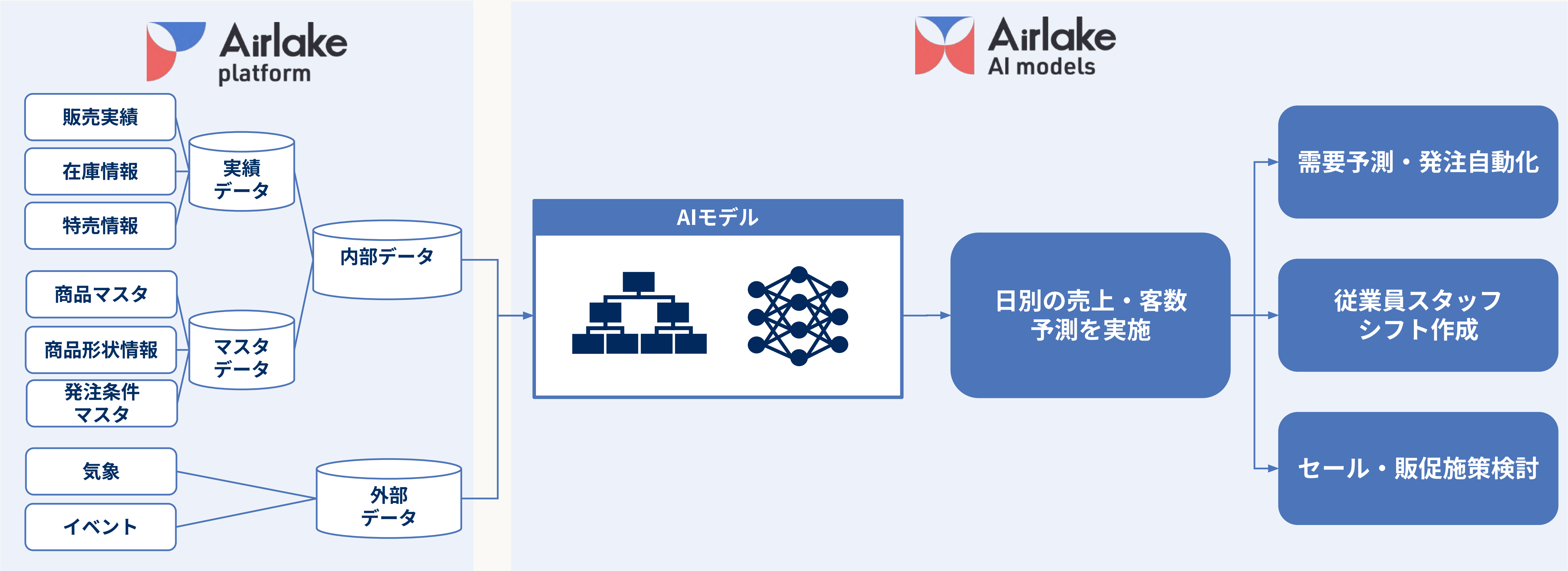
対象店舗や売場の条件を指定するだけで個店ごとに最適化された棚割を自動で作成します。

操作・処理フロー	①作成対象店舗を設定	②陳列什器のタイプを指定（新店の場合）	③陳列カテゴリーを指定	④制約条件を設定	⑤AIが最適な棚割を作成	⑥棚割を可視化
操作例	（例）東京都内A店	（例）間口900mm 高さ1500mm タイプ	（例）大分類：ソフトドリンク 小分類：お茶類・コーヒー	（例）最低2フェイス以上	（当該エリアおよび当該店舗の売筋など諸条件を反映）	A店の棚割をビジュアルで出力

4. Retail Agent 店舗運営パッケージの主要機能

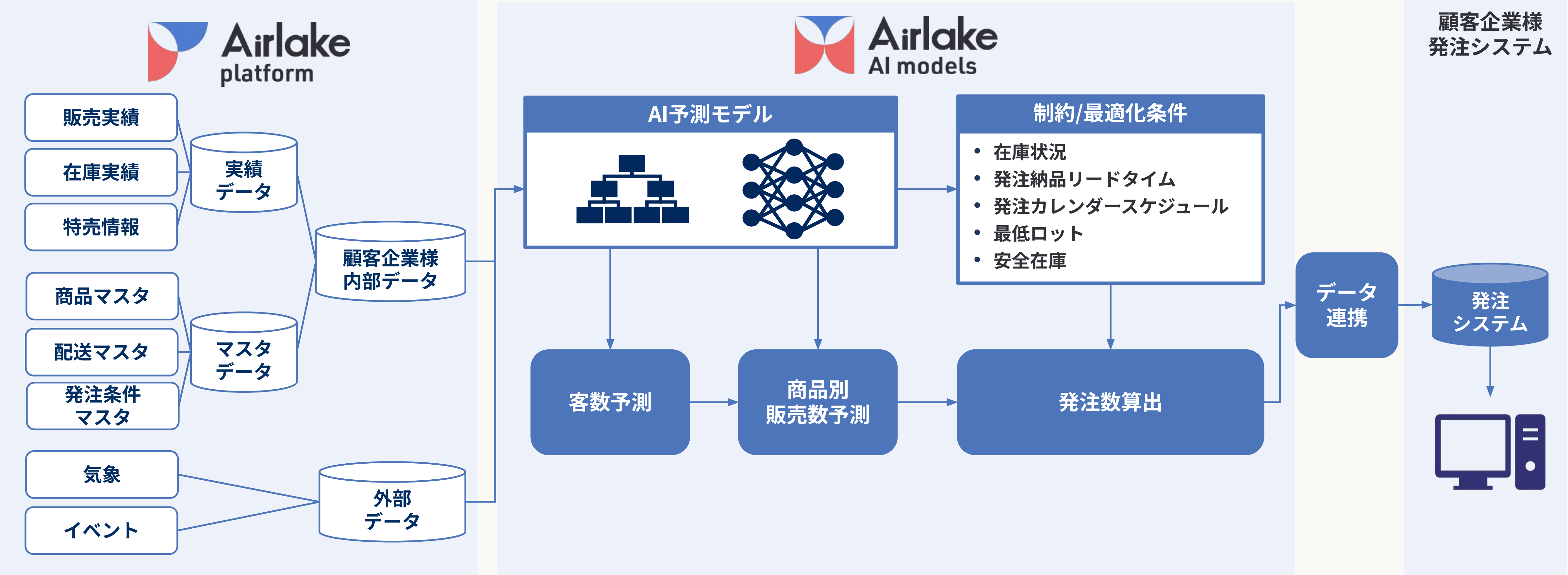
店舗運営パッケージの主要機能①日別売上・客数予測

過去の売上・客数実績データに加え、曜日、天候、イベント、セール・キャンペーン情報などを活用して、翌日以降の日別売上・客数を高精度に予測します。これにより需要予測や発注自動化、シフト作成などに活用が可能となります。



店舗運営パッケージの主要機能②販売量予測・発注自動化

日別の売上・客数予測をもとに、商品ごとの販売量をAIが算出。現在庫、安全在庫、リードタイムを踏まえて必要発注数を自動算出します。これにより欠品や過剰在庫を防止するとともに、店舗での人手不足に対して発注業務を大幅に省力化することが可能になります。



店舗運営パッケージの主要機能③棚割自動作成（既存店向け）

Airlake

**エリアの商品販売状況・売場環境に応じた最適な棚割案をAIが自動作成することで店舗の労力を大幅に削減します。
さらに既存店向けでは対象店舗での売筋商品や在庫状況などを棚割に反映することが可能です。**

売上・利益を最大化するための品揃えを自動作成	エリアの売筋商品や新規商品など、重点的に導入するべき商品の考慮して品揃えを自動作成することで、売上・利益の最大化を支援
店舗ごとの制約条件を反映した棚割の実現	売場什器のサイズやカテゴリー特性などの制約条件のほか、最小フェイス数など任意で設定可能なルールを反映して、店舗ごとの条件に合わせた棚割を作成可能
担当者による自由な変更が可能	棚割は画面上で自由に変更できるため、複数パターンでの比較検討が可能

※サンプル画面は商品画像を取得しないプランの場合の画面イメージです。
商品画像を取得できる場合は実際の商品画像が表示される予定です。

店舗運営パッケージの主要機能③棚割自動作成（既存店向け）

Airlake

エリアの商品販売状況・売場環境に応じた最適な棚割案をAIが自動作成することで店舗の労力を大幅に削減します。
さらに既存店向けでは対象店舗での売筋商品や在庫状況などを棚割に反映することが可能です。

Airlake platform

- 販売実績
- 在庫情報
- 特売情報

→ 実績データ

- 商品マスタ
- 商品形状情報
- 発注条件マスタ

→ マスタデータ

実績データ・マスタデータ → 内部データ

- 気象
- イベント

→ 外部データ

Airlake AI models

AIモデル

×

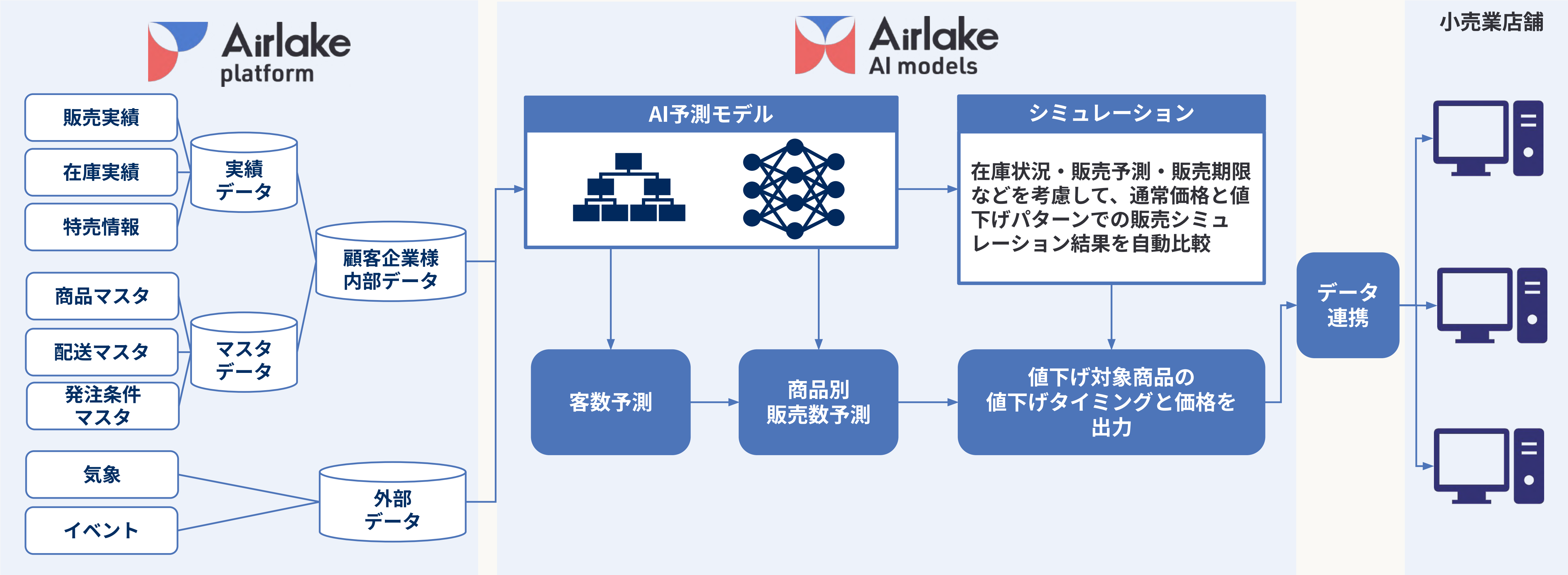
制約/最適化条件

- 小分類
- メーカー・ブランド
- 商品形状
- 棚サイズ
- アイテム数

→ **棚割案の出力**

店舗運営パッケージの主要機能④価格最適化

商品の現在の販売状況・在庫数と今後の客数・販売予測結果をもとにシミュレーションを行い、AIが最適な値下げのタイミングや価格を提案します。
これにより値下げロスや廃棄ロスの低減につながるとともに、担当者の負荷の軽減が見込めます。



5 . Retail Agent 本部業務パッケージの主要機能

本部業務パッケージの主要機能
①棚割自動作成（全店標準向け）

Airlake

チェーン全店における既存商品の販売状況や新規商品の導入予定を反映した、全店標準の棚割案をAIにより自動作成することが可能です。これにより本部担当者の労力の削減のほか、売上・利益の最大化を図ることが可能です。

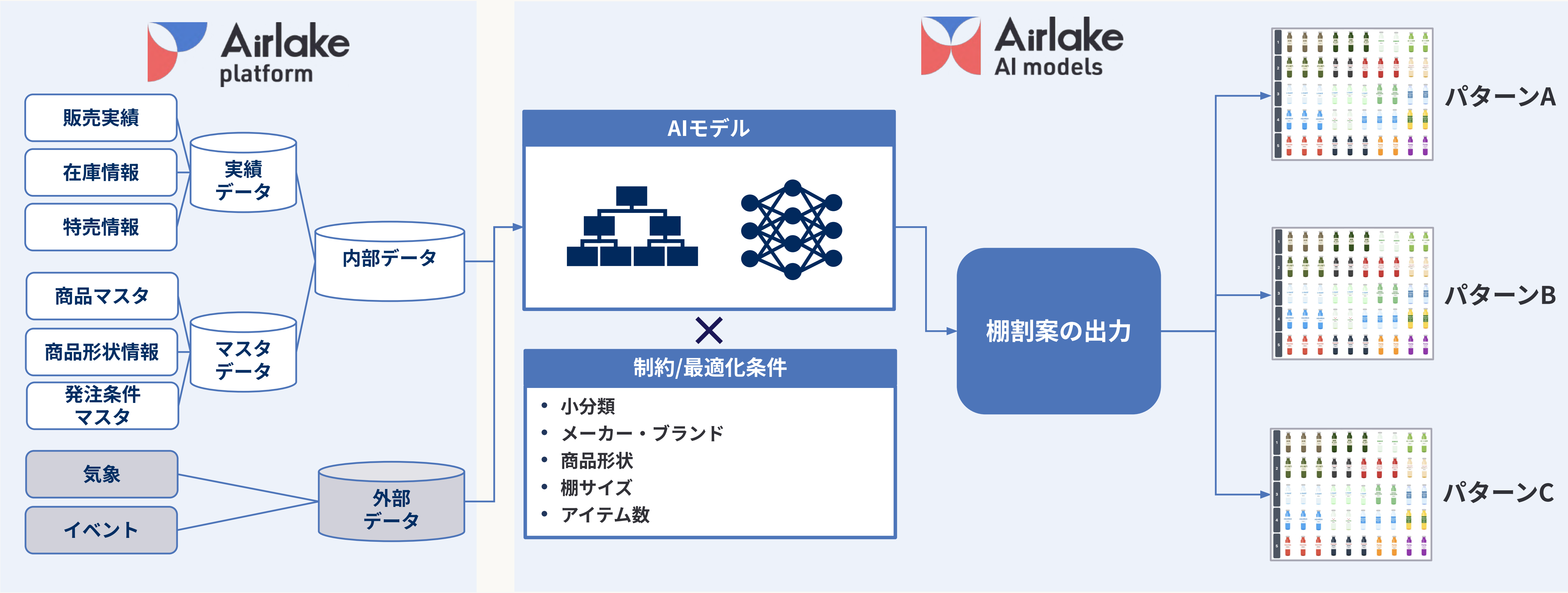
売上・利益を最大化するための品揃えを自動作成	全店の売筋商品や新規商品など、重点的に導入するべき商品の考慮して品揃えを自動作成することで、売上・利益の最大化を支援
店舗ごとの制約条件を反映した棚割の実現	売場什器のサイズやカテゴリー特性などの制約条件のほか、最小フェイス数など任意で設定可能なルールを反映して、店舗ごとの条件に合わせた棚割を作成可能
担当者による自由な変更が可能	棚割は画面上で自由に変更できるため、複数パターンでの比較検討が可能

※サンプル画面は商品画像を取得しないプランの場合の画面イメージです。
商品画像を取得できる場合は実際の商品画像が表示される予定です。

本部業務パッケージの主要機能
①棚割自動作成（全店標準向け）

Airlake

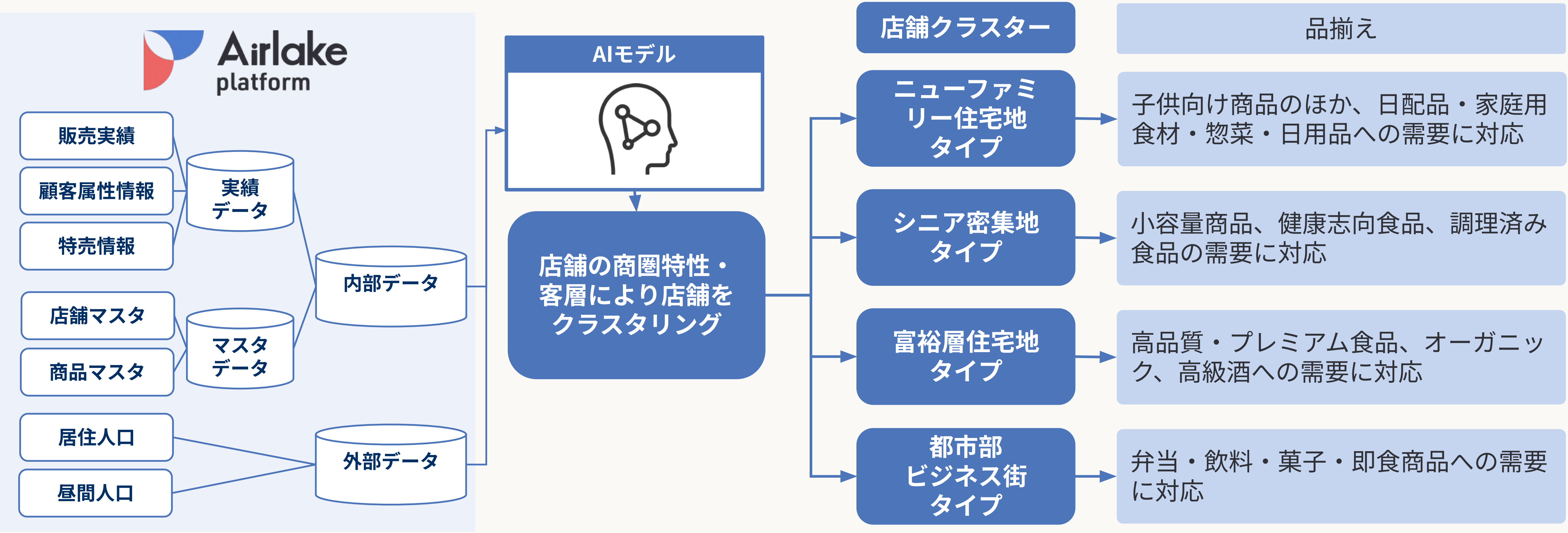
本部業務では特に全店標準のモデル棚割の作成が必要となることが多いため、全店の商品販売実績や新規商品の導入予定などをベースとして、複数の立地タイプや売場什器サイズのパターンに合わせた最適な棚割案をAIが自動作成します。



本部業務パッケージの主要機能
②店舗別の品揃え最適化

Airlake

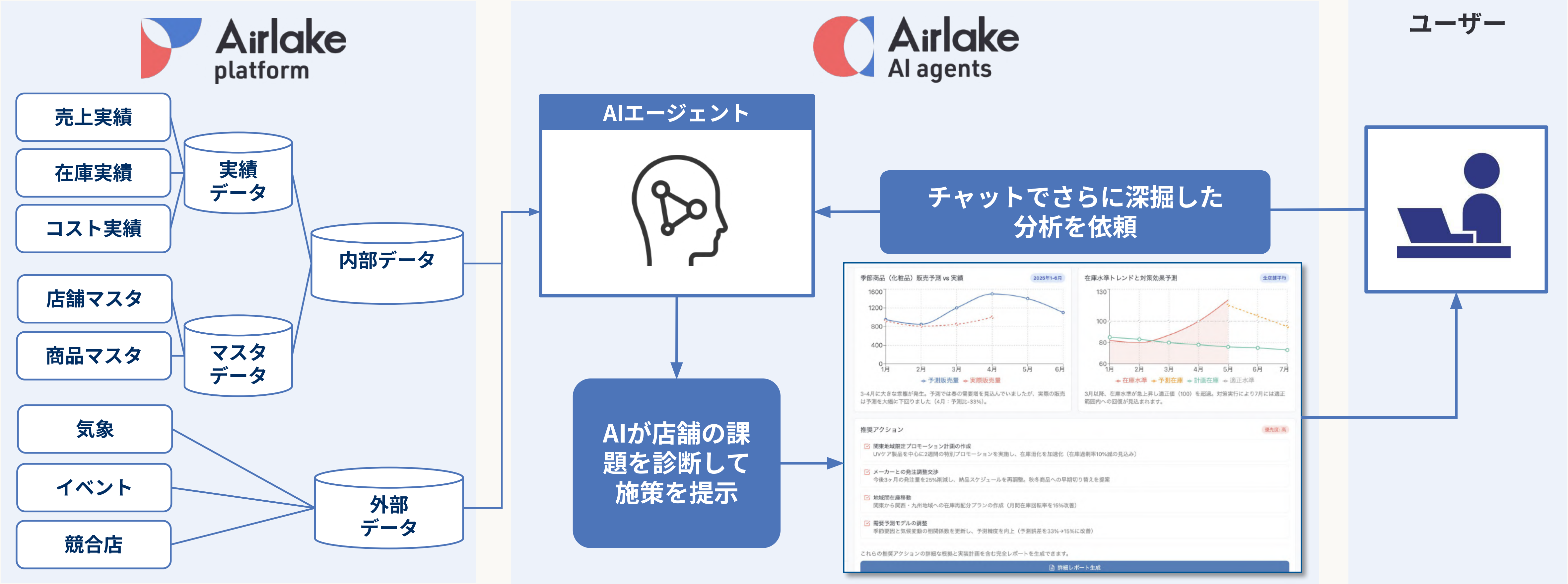
地域の特性や来店客層が異なる様々な店舗において、全て一律で同じような商品構成では売上や顧客満足度の最大化は困難です。
この機能では、AIが店舗ごとの商圏特性・客層データ・販売実績などを学習し、店舗ごとに最も効果的な商品ラインナップを自動提案します。



本部業務パッケージの主要機能
③ 店舗経営分析レポート自動作成

Airlake

各店舗の様々な実績データをもとに、店舗別の経営分析レポートを定期的に自動生成します。
AIが店舗の経営状況や課題を診断して、今後必要なアクションを提案します。
また、チャット形式で集計・分析の仕様を自由に変更して、特に気になった点を深掘り分析することが可能です。



本部業務パッケージの主要機能
④ 店舗KPIダッシュボード

Airlake

**本部にて各エリアや店舗のKPIを一元的に検証できるダッシュボードをご提供します。
エリアマネージャーやSVが担当しているエリア・店舗の最新のKPIを確認することでスピーディーな対応をとることが可能になります。**

DATAFLUCT

データの力で、組織を動かす